

- 2008年8月1日から2022年9月30日まで岡山大学病院 消化器内科、肝・胆・膵外科において急性肝不全と診断された方へ -

「急性肝不全の肝臓移植についての研究」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 大塚 愛二
岡山大学病院
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 病態機構学講座 消化器・肝臓内
科学分野 准教授 高木 章乃夫

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

急性肝不全は急速に進行し、また命を落とす可能性が高い疾患であることから、常に肝臓移植を念頭に置いて治療に当たる必要があります。しかし血液透析や血漿交換などによる保存的な治療の進歩や脳死肝臓移植の普及に伴い、肝臓移植を取り巻く状況は変化してきています。中四国地方の中心的肝臓移植施設である岡山大学病院での急性肝不全の治療成績を解析し、今後の方策を検討することがこの研究の目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2008年8月1日から2022年9月30日まで岡山大学病院 消化器内科、肝・胆・膵外科において急性肝不全と診断された方150人を対象とします。

2) 研究期間

2016年12月22日 ~ 2022年12月31日

3) 研究方法

研究対象者に対し、その後の経過（回復、死亡、肝臓移植）について調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院 消化器内科内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文、インターネット掲載で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年10月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化器内科 准教授
電話：086-235-7219（平日：9時～17時）
ファックス：086-225-5991

高木 章乃夫